

平成23年報告第35号

自動車運送事業の経営健全化計画の実施状況について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第24条において準用する同法第6条第1項の規定により、自動車運送事業の経営健全化計画の実施状況を別紙のとおり報告する。

平成23年9月27日提出

名古屋市長 河 村 たかし

経営健全化計画の平成22年度実施状況

名古屋市

自動車運送事業会計

第1 計画と具体的な措置の状況

資金不足額は、平成22年度の計画額86億円に対して実績額60億円と、26億円の改善となった。これは、平成21年度における14億円の改善に加え、平成22年度における収入増加方策及び支出抑制方策の効果額が計画を13億円上回ったこと、一般会計補助金を計画より1億円縮減したことから、計画を12億円上回る改善があったことによる。

これにより、資金不足比率は、平成22年度の計画値44.9%が実績値31.7%となった。

1 収入増加方策

乗車券サービスの向上やICカード「mana」の導入など、積極的な乗客誘致に努めたことから運輸収益は計画を上回ったものの、広告料収入の減などにより営業収益は計画を下回ったが、名古屋バスターミナルに係る補償金などの特別利益が計画を上回り、収入増加方策の効果額は、計画を2億円上回った。

2 支出抑制方策

給与カットの継続及び生涯賃金で約20%の減となる給料表の適用など人件費の抜本的な効率化や、自動車燃料費をはじめとした経費の節減等の支出抑制方策の効果額は、計画を11億円上回った。

3 自動車運送事業会計への他会計からの出資

高速度鉄道事業会計及び一般会計から、計画どおり出資を行った。

4 1 から 3 までの方策に係る収入及び支出の状況

(1) 効果額の状況

区 分	計画第 2 年度 (平成22年度)		
	計画額 A	実績額 B	B - A
収入増加方策	2億円	4億円	2億円
支出抑制方策	16億円	27億円	11億円
一般会計補助金の縮減	△ 9億円	△ 10億円	△ 1億円
経営基盤安定化方策	—	—	—
他会計からの出資	41億円	41億円	0億円
計	50億円	62億円	12億円

(2) 収支の状況

区 分	計画第 2 年度 (平成22年度)		
	計画額 A	実績額 B	B - A
自動車運送事業収益	249億円	253億円	4億円
営業収益	191億円	190億円	△ 1億円
営業外収益	56億円	55億円	△ 1億円
特別利益	2億円	8億円	6億円
自動車運送事業費	251億円	236億円	△ 15億円
営業費用	238億円	225億円	△ 13億円
営業外費用	6億円	4億円	△ 2億円
特別損失	7億円	7億円	0億円
営業損益	△ 47億円	△ 35億円	12億円
経常損益	3億円	16億円	13億円
純損益	△ 2億円	17億円	19億円
累積欠損金(△)	△ 527億円	△ 495億円	32億円
資本的収入	71億円	66億円	△ 5億円
資本的支出	68億円	63億円	△ 5億円
収支差引	3億円	3億円	0億円
当年度分損益勘定留保資金等	27億円	20億円	△ 7億円
資金不足額(△)	△ 86億円	△ 60億円	26億円

注 自動車運送事業収益及び自動車運送事業費の額には消費税額及び地方消費税額を含まず、資本的収入、資本的支出及び収支差引の額には消費税額及び地方消費税額を含む。

第2 資金不足額解消の状況

区 分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A	/	△ 9億円	28億円
解消実績額 B		5億円	40億円
現在計画 C		△ 9億円	28億円
B - A		14億円	12億円
資金不足額(△)		△ 105億円	△ 100億円

区 分	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A	9億円	4億円	5億円
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	9億円	4億円	5億円
B - A	—	—	—
資金不足額(△)	△ 77億円	△ 73億円	△ 68億円

区 分	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	2億円	11億円	16億円
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	2億円	11億円	16億円
B - A	—	—	—
資金不足額(△)	△ 66億円	△ 55億円	△ 39億円

### 第3 資金不足比率の状況

区 分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	55.3%	61.0%	53.6%	44.9%	31.7%	39.6%

区 分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	37.7%	35.1%	34.1%	28.0%

区 分	平成28年度 (第8年度)	備 考
	計画値	
資金不足比率	19.9%	平成22年度においては、計画を12億円上回る改善があったことにより、資金不足額は、平成21年度の改善額14億円と合わせて計画に対して26億円改善の60億円となり、資金不足比率は計画に比べて13.2ポイント改善した。

### 第4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

#### 1 お客様サービスの向上

お年寄りや車いす利用者をはじめすべての方に利用しやすいノンステップバスを104両購入し、全車アイドリングストップシステム付きの低公害バスとした。さらに、事故防止対策やエコドライブ推進のためのドライブレコーダーをバス200両に整備した。また、停留所で安全・快適にお待ちいただくために照明付標識・上屋・ベンチを引き続き整備した。

平成23年3月の地下鉄桜通線野並・徳重間の開通に伴い、鳴子北バスターミナルを新設するとともに、徳重交通広場を活用し、地下鉄との乗り継ぎ利便の向上を図るなど効率的で利便性の高いバス路線に再編成した。

このほか、職員の接客技能を高めるため接客コンクールを実施するなど、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

#### 2 活力ある職場づくり

「人財育成プログラム」の導入準備を進めるとともに、市バス運転技能競技会や技術改善職場コンクールを実施するなど、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

### 3 計画の進行管理

計画の進捗状況や施策の取組状況について、外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため、平成22年5月に名古屋市交通事業経営健全化委員会を設置し、5月及び11月に開催した。